

SUMMARY

No051520

※ 変化率という数学的概念について
理解する必要があります。Number Operationは

今週号のレポートにおいて「CV1が20ポイントに向かってさらに減少するか見極めたいと思いま
す。」と述べました。

CV1(=[MAY])は一時26ポイント台まで減少しMATRXが正常化に向かいかけましたが、5/13に
35ポイント台まで逆に増加しました。MATRXのトラングルが正常な形状に戻ってもCV1が一定
の水準以下の数値でないと安定的と言えません。なぜかという、CV (Current Value; [注]
Number Operationにおいては“value[バリュー]”を日本語では「価値」と訳さない方がいいのかもし
れませんが、「価値」を「価格」との対比で理解されていた方がいらしたからです。Number
Operationでは「数値」も「価値」も同じく“数”です。それぞれの“数”の性質が異なるので区別する
ために日本語で「数値」と「価値」という言葉を用いました。英語の“number”と“value”も同じく“数”
です。“Value-Chain”を“Number Chain”と呼ぶこともできます。「数値」も「価値」も、Number
Operationにおいては、同じく“数”(かず)または“値”(あたい)の意味です。)は元々変化率という
数学的物理学的概念で、その数値自体に自ずと常識的な(正常な)範囲が存在するからです。そ
の範囲を超えている間は安定的でないのです。

今週のポイントは「“確実な”ものを“確実に”」です。

3月に発生した一際大きいRSC(“Reverse Structural Change”)の発生後、むしろ、展望が開けて
きたのではないのでしょうか。

下に掲げたVCのテーブルをご覧ください。

S値の両サイドに掲げた数値(バリュー)において“decimal point”(小数点)を省きました。例えば、
“0.65”は“65”、“2.50”は“250”といった具合です。それらは、それぞれ、65ドル、250ドルの意味
です。こうすることで実感が湧いてくると思います。テーブルにマネーが転がっているのです。

私のチームでは元々そのように小数点を省いて数字を書いていた。現在でもそのようにしてい
ます。

READ NUMBERS!

重要なことは数字を読むことです。数字を読む過程の中でITVとOTVを紙に書いて計算してみ
てください。それがハンドを組み立ててオペレーションを実行しさらにハンドを「S線上のアリア」の
CV(Current Value)の位置に変化に合わせて操作する技術を身につけることにつながります。
さらに、収益がどのように生み出されるのか、ローテーションによる時間がどのように関係してい
るのか、わかるようになります。

RELATE VC to MATRX

VCのテーブルに慣れてしまえばマトリックスは頭の中に描くことができると思います。VCの数字を
読むときにその背景にマトリックスがあることを思い出してください。マトリックスのイメージを頭の中
で描くことによってVCの数字をよりよく読めるように慣れます。VCの数字を読むこと自体が
Number Operationの仕事の一部だと思っただければと思います。そのような数字が読めなけ